

情報連絡員報告総括表(令和7年12月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食 料 品	醤油・味噌製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・醤油・味噌は、原材料の高騰や消費の減少により市場が縮小しており、収益状況は悪化している。</li> <li>・市場の縮小は厳しい状況ではあるが、富山の醤油・味噌の地域性の強さを武器に、独自のブランド構築を進めていく。</li> </ul>
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格の値上がりが続いている。</li> <li>・価格転嫁がなかなか出来ないでいる。</li> <li>・消費者の購買行動が弱まっており、必要な物以外は買わなくなっている。</li> </ul>
	処理牛乳・乳飲料製造業	↗	↗	↗	→	→	→	↗	→	↘	・特になし。
織 維 工 業	ニット製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高、収益状況、設備操業度、業界の景況については、やや悪化傾向にある。特に、衣料関連は厳しい状況が続いている。</li> <li>・販売単価の上昇については、価格転嫁が理解されたものと見ている。</li> </ul>
	絹人織織物業	→	→	→	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節約志向により一般消費者向けの商品の売上は良くないが、企業向けの商品は好調を維持している。</li> <li>・売上を維持することと、原材料や資材の値上がりが続いている中で収益を確保することに、各企業は苦慮している。</li> </ul>
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織機の入替え等が組合員企業であり、それが稼働するまで、受注はかなり減少している。</li> </ul>
木 材 ・ 木 製 品	一般製材業	↘	↗	→	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設住宅着工戸数の前年同月比は、27.3%減と大幅な減少となり、減少による需要の落ち込みは、木材産業関係事業者全体の経営環境を厳しくしている。特に、建築基準法改正に伴う対応の影響が大きい中小工務店の資金繰り悪化が懸念される。</li> <li>・ロシア材取扱事業者は、円安による入荷コストの上昇によって、これまでの過剰な在庫の滞留とともに景況を悪化させている。</li> <li>・プレカット工場については、住宅着工数の減少による稼働率の低下が続く、雇用維持のため採算割れにもかかわらず受注し、仕事を確保している状況にある。</li> </ul>
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。



業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・生産量は全般的に低調に推移している。特に建設機械部品が減産のままで、回復の情報がない。 ・先行きの景況感は悪化している。
	銅・同合金鑄物製造業	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	・地金価格高騰が長期化している。
	アルミニウム製品製造業	↘	→	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・組合員企業の操業度、業績に大きな変化はないものの、一部産業用機械、建設用機械関係においては、やや低迷にある。
	めっき加工業	↘	→	→	→	↘	→	→	↘	↘	・取引先からのめっき加工依頼が減少しており、売上の前年同月比は減少している。 ・資材価格(材料費)が高止まりしており、収益状況は悪化している。
一般機器	金属工作機械製造業	↗	→	→	→	↗	→	→	↘	→	・脱中国サプライチェーン再編の影響は大きく、先月減少した工作機械部門は回復し、受注は増加している。
	金属加工機械製造業	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	・特になし。
	非金属用金型製造業	↗	↘	→	→	↗	→	↗	→	→	・受注量は全体的に減少気味で、先行きは不透明である。 ・仕事のある会社と無い会社の差がはっきりと出てきている。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↗	↗	→	→	→	↗	→	→	・産業機器向けの電子部品需要が、少しずつ回復してきている。 ・自動車向けは計画通りに受注出来ている。 ・新製品受注は、中国・台湾企業との競争が激しいため不調である。その影響なのか新製品の引き合いはコロナ前に比べると低調である。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・高岡漆器の展示会を首都圏で開催したところ、12月という季節がら、季節商品、おもてなし商品の売上が伸びている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↘	→	→	→	→	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月は天候に恵まれ、山間部での工事が順調に推移したものの、前年同月比92.9%と下回っている。4月～12月の売上累計については前年比103.8%とプラスを維持している。</li> <li>・冬季間の売上は天候次第となり、減少を見込んでいるが、今後、昨年同額で推移すれば前年比を約10,000袋オーバーで着地できると期待している。</li> </ul>
	非鉄金属製品卸売業	↘	→	↗	↘	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末のお歳暮商戦が売上の主力だが、毎年お客様の購入額が少しずつ減っており、結果売上も減少している。何か別の売上確保策を講じないといけない。</li> </ul>
小売業	鮮魚小売業	↘	→	↘	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。</li> </ul>
	食肉小売業	↗	↗	↗	→	→	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって差はあるが、小売は好転しつつある。</li> <li>・卸売は仕入れ価格が急上昇したため、収益が減少している。</li> </ul>
	野菜・果実小売業	↘	→	→	→	↘	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の富山卸売市場は、前年同月比で数量86%、単価102%、売上88%となっている。</li> <li>・組合員全体の売上については、前年同月比93%となっている。</li> </ul>
	家庭用電気機器小売業	↘	→	→	→	→	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	ガソリンステーション	↘	→	↘	↘	↘	↘		↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。</li> <li>・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。引き続き、需要の回復感は弱い。</li> <li>・ガソリン暫定税率が廃止され、引下げ前の高値在庫を売り切るには一定期間要するため、短期間での引下げは経営の打撃となる恐れがある中、補助金を上回る価格下落傾向が顕著になり、市況は悪化傾向にある。</li> </ul>
	スポーツ用品小売業	↘	→	↗	↘	↘	↘		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	ショッピングセンター	↗	→	↗	↘	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入れ商品などの値上げや最低賃金情報により、ランニングコストがかなり上昇しており、経営を圧迫している。</li> </ul>

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	・安定した天候の日が比較的多かったものの、周辺駐車場の空きが目立つなど昨年よりも人出が少なく、歳末商戦とは言え人の動きは淡々としている。 ・高級服や宝飾品等の売上は昨年を下回っているが、飲食店は時節柄賑わっている。
	商店街	↗	→	↗	→	↗	→		→	↗	・飲食は変化はないが、物販は好調に推移している。
サービス業	情報サービス業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	クリーニング業	→		→	→	↘	↘		↘	→	・特になし。
	飲食業	↘		↗	→	↘	→		→	↘	・売上の前年同月比は7%減となっている。 ・夜の部の家族連れの利用が少なくなっている。
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	・12月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同月比で久しぶりにプラスに転じている。大手8社のうち認証不正問題から回復したメーカーを含む5社が前年実績を上回っている一方で、経営不振でブランドイメージ低下が指摘されるメーカーを含む2社は減少している。 ・新車市場は、物価高騰や新車車両価格の値上げや一部メーカーでは半導体不足などによる供給制約の影響により、予断を許さない状況は続くと思われる。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少していく状況にある。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		↘	→	↘	↘		→	↘	・仕事量の少ない期間が長引いている中、地場物件を他地区の鉄骨加工業者が受注するケースが増えている。 ・大型物件の端境期が続いており、工場稼働率が50%を切る大手鉄骨加工業者が見受けられる。我慢の状態が続きそうである。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	・景況に変化はない。
	電気工事業	→		↗	→	→	→		→	→	・公共工事、民間設備投資は順調だが、住宅着工件数は減少傾向にある。 ・年明けにかけて、工事資材の値上げが予定されており、価格転嫁が課題である。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	↗	→		→	→	・軽油価格について、前年同月比-10円/ℓ前後で推移したことから、収益状況は改善しつつある。
	道路貨物運送	→		→	→	↗	→		→	→	・燃料価格について、前年同月比で-8.4円/ℓと値下がりしている。 ・物量は、前年同月比104.6%と好調である。